

広がる世界、閉じる社会

17

大恐慌下のアメリカ

1. 新しい空間性による社会改革 19

- (1) 四次元的な空間の広がり 19
- (2) 電気のモニュメント 21
- (3) ミニマルな農業モデル 23
- (4) 公共彫刻制作の壁 26

2. 公共彫刻実現の方法を模索して 30

- (1) 労働組合関連のプロジェクト 30
- (2) 連邦政府の芸術プログラム 35
- (3) 大企業の商業プロジェクト 39

- 
3. 閉塞していく社会の中で 51
- (1) 拡大主義と人種差別 51
  - (2) 砂漠の共同体 57

---

第1章 図版 40 | 47

第2章

---

空からの破壊、地中からの再生 67

第二次世界大戦と復興

- 
1. 戦場のめまい 68

- (1) 空爆された大地のレリーフ 68
- (2) 空想の風景から現実の世界へ——境界を越えて 71

- 
2. 戦後社会と彫刻家の使命 76

- (1) 新しいコンセプト——「生きている記念碑」と「新しい記念碑性」 78
- (2) 生きている記念碑最初のコンペ 81
- (3) 「余暇の環境」を求めて世界の旅へ 84

- 
3. 過去・自然・人が交わる空間のデザイン 93

- (1) インド独立のシンボル 94
- (2) 芸術を通じた日米の和解 97
- (3) 広島・都市再生のメタファー 101

---

第2章 図版 86 | 91

第3章

---

ヘゲモニーとヘテロトピア 113

冷戦時代の理想郷

- 
1. アメリカの中の「他所」としての日本庭園 115

- (1) 日本化する景観とアメリカ化する建築 116
- (2) リーダーズ・ダイジェスト東京支社——冷戦のプロパガンダ 119
- (3) ユネスコ本部1——政治と美学の結婚 125
- (4) ユネスコ本部2——伝統との対話 131

2. 資本主義のヘテロトピア —— つながりと遮断 139

- (1) ガラス張り高層ビルの表と裏 140
- (2) 郊外の企業パーク —— 合理主義を和らげる田園的景観 144
- (3) 世界の新しい秩序を象徴する庭 147
- (4) 彫刻家と景観デザイナーのはざま 163

3. プラザ —— 企業と公共空間 168

- (1) マンハッタンでのプラザの台頭 168
- (2) プラザ彫刻が象徴するもの 173

第3章 図版 148 | 159

第4章

中心の再創造 181

アメリカ都市の危機に挑む

1. 現代彫刻と都市再生 183

- (1) 公共彫刻をめぐるイデオロギー転換 183
- (2) 身体と環境をつなぎ直す —— シアトルのプロジェクト 188

2. 水と大地の彫刻 191

- (1) 都市再生運動と噴水 191
- (2) 大地の児童遊園 195

3. 共同体の新しい心臓 203

- (1) 危機の時代の公共広場 —— デトロイトのハート・プラザ 203
- (2) 公共空間の共同制作 222
- (3) 共同体の物語を作る舞台 228

第4章 図版 210 | 221

イサム・ノグチ関連年表 243

図版クレジット一覧 253

おわりに 254